

# あゆむ

## 第2の認知症 レビー小体型認知症 小阪憲司先生講演

アルツハイマー型の次に多く、第2の認知症とも呼ばれるレビー小体型認知症の発見者である、横浜市立大学医学部名誉教授の小阪憲司先生のご講演が、去る3月8日にホテルサンルート釜石で開催されました。小阪先生は、1976年にレビー小体型認知症を発見されています。現在も認知症の臨床医や研究者として活躍され、外来診療の他、家族を支える会の発足、認知症関連の著作、全国各地での講演を行っている世界的に名高い精神科の先生です。講演会当日は、専門性の高い内容を分かり易くご説明されていました。

レビー小体型認知症とは、先生が監修されている冊子によると、脳に現れるレビー小体という異常なたんぱく質の塊が脳皮質や脳幹に広がることで認知症になるとの説明があります。

主な症状として、認知機能障害や変動、幻視や歩行障害、睡眠時の異常言動、薬剤過敏性、嚥下障害、うつ状態、自律神経症状といった症状が現れるとされています。

症状の中でも大きな特徴として「幻視」があり、虫や小動物、人など、実際にはないものが見え「子供達がいる」「ねずみがいる」等の訴えが聞かれることがあります。対応方法としては、幻視を否定せず本人に見えるものや訴えを聞くようにしましょうとご説明がありました。その他にも転倒に注意する、薬の副作用に注意を払うことなどを挙げられました。特に注意が必要なのは「薬剤過敏性」であり、薬の副作用が出現し易いため、投薬治療の結果逆に症状が悪化するというケースもあるとのことでした。

レビー小体型認知症は物忘れ等が出現しにくいため、初期では認知症と診断されないことがあります。パーキンソン様の症状が現れ「パーキンソン病」と診断された後に記憶障害が出て、レビー小体型と診断がつく事もあり診断が難しいと話されていました。

最後に先生から、この病気の事を1人でも多くの方に知って頂き、ご本人やご家族が少しでも不安なく生活できることを願いますとメッセージがありました。

### ミニ講座

### 暴言・暴力等の対応について

#### 1.介護に暴言・暴力が出る原因は？

認知症になると、感情を抑えることができず、ちょっとしたことで怒ってしまうことがあります。

#### 2.暴言・暴行が出やすい介護とは？

物盗られ妄想がある方に「盗っていない！」等と否定すると怒りのスイッチが入ります。更に「ぼけている」など言われると自尊心が傷つき暴言や暴行になったりします。

#### 3.暴言・暴行が見られた時の対応について

興奮している時は対抗しようとせず、時には“さっ”と離れてしばらく様子を見ることも必要です。

#### 4.暴言・暴行の具体的な対処法

①関わり方を変える・・・自尊心を傷つけるような言葉を投げかけないようにする必要があります。また、介助をする際には一言やさしく声をかけることも重要です。

②介護者を代えてみる・・・いちばん身近で接している人に症状が出る場合が多いので、介護者を代えてみたり、ヘルパーさんなどを利用したりと工夫しましょう。

③体調が悪くないかチェック・・・体調不良から症状が出ることもあるため、発熱や便秘、脱水などがないか確認してみましょう。

④医師に相談・・・前頭側頭型認知症やレビー小体型認知症は、予期せぬ暴力が現れる場合があるので、酷くなるようであれば医師に相談して薬などを処方してもらうことも必要です。

## ★シリーズ★ 認知症最新ニュース

### 「脳内に“やる気のスイッチ”を発見！」

慶応大学医学部の研究により、「やる気」を維持する脳部位が明らかになりました。大脳基底核と呼ばれる脳の限られた領域が障害を受けるだけで、意欲の維持が困難になることが判明したのです。

認知症や脳血管障害のような脳の障害があると、意欲障害が現れることが多いと言われており、その治療薬の研究も困難となっていました。「やる気」の低下により、リハビリが進まず本人の生活の質の向上も見込めない状況であった中、大脳基底核が「やる気」を司っている事が明らかとなり、意欲障害への治療法研究の可能性が大きく前進することになりそうです。

## 活 動 予 定

★ つどい定例会 (対象：正会員・一般介護者)  
日時：4月19日(水) 13:30~15:00  
会場：小佐野コミュニティ2階

★ 認知症の人とあゆむ会総会・講演会  
日時：5月末を予定  
会場：アミーガはまゆり地域交流スペース  
※日時・内容が決まり次第ご案内させていただきます。